

みんなで力をかし合おう

上文殊小 三年

清川

藍

っていぼうが決かいいしそうです。すぐ、近くのひなん所に動してください。

平成十六年七月、福井ごう雨がおきました。当時、わたしの家族は木田小学校の近くに住んでいました。木田小の北にある足羽川のていぼうが決かいいし、たくさんの家が土砂にやられました。私の家にも水が来しました。家にはお母さんと生まれてまだ一ヶ月の私とお兄

ちゃん二人しかいませんでした。お母さんは子ども三人をつれてにげるのかいいのか、二階にいた方がいいのか、なやんだそうです。

幸い、私の家は土砂にはやられませんでしたが、でも、お兄ちゃんちゃんの友だちの中にはランドセルや教科書、思い出の写真などが全部たぬめになったてしまった人もいたそうです。新ちくの家がこわれてしまった人もいたらしいです。私のおじいちゃんちゃんの家も水につかり、たみなどがどろたろたろらけになりました。大切な

本やビデオもためになつたそうです。でも、足の悪いひいおばあちゃん、おじいちゃんおばあちゃんは無事だったのでよかったです。

今年の夏はゲリラごう雨のニュースをよく聞きました。雨で土砂がくずれ家がうもれてぎせい者が出たそうです。思い出はまたつくればいいけど死んでしまつたらつくれません。ごう雨の写真やえいぞうを見ると、水のはものすごいということが分かります。日本の川は短くて急なので大雨がふると土砂災害

がおきやすいそうです。上文殊では、六月に土のうを作つたりつんだりする訓練をしました。福井ごう雨の時も地区の人たちが力を合おせてごうの始末などをしたそうです。日本では土砂災害が起きるかのう性が高いらしいので、ふたんから地区全体で訓練しておくことが大事だと思います。ぎせい者が一人も出ないよういざという時手をかしたいです。そのためにも、ふたんから地区の人と仲よくし、すんでいる人のことを知っておきたいです。